

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公開番号】特開2008-265134(P2008-265134A)

【公開日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-044

【出願番号】特願2007-110550(P2007-110550)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

B 6 0 R 13/00 (2006.01)

【 F I 】

B 3 2 B 27/36

B 3 2 B 27/00 E

B 3 2 B 27/00 M

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 175/04

B 6 0 R 13/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月19日(2010.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリエステル系樹脂を主成分とし、ポリカルボジイミドを添加剤として含む樹脂フィルムと、

前記樹脂フィルムの少なくとも一方の面上に配置されたアクリル系粘着剤層とを有する装飾性シート。

【請求項 2】

前記樹脂フィルムは、前記ポリカルボジイミドを、0.5質量%以上含む、請求項 1 に記載の装飾性シート。

【請求項 3】

前記ポリエステル系樹脂は、ポリエチレンテレフタレート樹脂もしくはポリブチレンテレフタレート樹脂である、請求項 1 または 2 に記載の装飾性シート。

【請求項 4】

前記樹脂フィルムと前記アクリル系粘着剤層との界面において、少なくとも一部の前記ポリカルボジイミド中のカルボジイミド基( -N=C=N-)と前記アクリル系粘着剤層中のカルボキシル基( -COOH)とが化学結合していることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の装飾性シート。

**【請求項 5】**

前記樹脂フィルムは、弾性率が 3 0 0 M P a 以上 7 0 0 M P a 以下である請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の装飾性シート。

**【請求項 6】**

前記樹脂フィルムは、厚みが 5 0 ~ 2 0 0  $\mu$  m である、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の装飾性シート。

**【請求項 7】**

前記アクリル系粘着剤層は、イソシアネート架橋されたものである請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の装飾性シート。

**【請求項 8】**

前記装飾性シートは、自動車の窓枠周辺の外装装飾に使用されることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載の装飾性シート。